

明るく、住みよいふるさと坂出、そして香川、日本をつくるために、

あなたの１票には大きな大きな期待が寄せられています。

とても大切な１票です。

未来をつくるのは誰かではありません。あなたの１票なのです。

坂出市選挙管理委員会

坂出市明るい選挙推進協議会

有権者の皆さんへ

投票は、私たちが政治に参加する一番身近なチャンス。ところが、投票率は年々下がっており、特に若い世代の棄権が多くなっています。

　「自分の１票なんて、たいしたことない。」「選挙には関心がない。」なんて言わないで。政治・選挙は私たちのくらしのずっと身近なことです。

**□政治とか選挙とか関心ないんだけど・・・・・。**

「自分の１票なんて、大したことない」、なんて思っているあなた。例えば、あなたが今「自分の住むまちを、もっと住みよくしたい」と思ったらどうしますか？よりよいまちにするためには、交通網の整備や公園の整備、教育施設の整備も欠かせません。坂出市、さらには香川県、日本という国をもっとよくしようというのが政治であり、みんなの代表として政治を行う人を選ぶのが選挙です。

　つまり、あなたの１票は政治を支える１票であり、より良い暮らしの基となる大切な１票です。政治と選挙は、まさにみんなの暮らしに欠かすことのできない大黒柱です。

**□投票日には予定があって・・・・・。**

　投票を棄権した理由について調査をしたデータがあります。「選挙にあまり関心がなかったから」、「仕事があったから」、「適当な候補者がいなかったから」、「政策や候補者の人物などについて事情がよくわからなかったから」といったものが主なものとなっています。

　投票日に仕事や旅行、レジャーなどの用事がある場合は、期日前投票所で投票日前日の午後８時まで、期日前投票をすることができます。

選挙は、あなたが政治に関われるせっかくの機会です。あなたが手にしている１票の『力』が集まって大きな『力』となります。選挙についてもう一度じっくり考えてみましょう。

**□棄権してるのは自分だけじゃないと思うけど・・・・・。**

　これまで、一般的に若い世代の投票率が他の世代と比べて低くなっており、３０代、４０代と世代が上がるほど投票率が増加傾向にあるという調査結果があります。やはり自分たちの暮らしと選挙や政治が密接に関わっていることからでしょうか。あなたも年齢を重ねるごとに、おそらく選挙への関心が増してくるようになると思います。若いうちから、その声を政治に反映させるためにも積極的に選挙に参加しましょう。

選挙と政治の基本知識

|  |
| --- |
| 日本は、「衆議院」と「参議院」の二院制。片方の議院で議決した内容を、もう片方の議院で違う立場や角度からさらに検討して、慎重に審議を行います。選挙も、衆議院と参議院で別々に行われ、それぞれで働いてくれる代表者を選びます。 |
| □**衆議院議員総選挙**衆議院議員の全員を一度に選ぶための選挙です。小選挙区選挙と比例代表選挙が、同じ投票日に行われます。総選挙は、衆議院議員の任期満了（４年）によるものと、衆議院の解散によって行われるものの２つに分けられます。 | □**参議院議員通常選挙**参議院議員の半数を選ぶための選挙です。参議院には解散がありませんから、常に任期満了（６年）によるものだけです。ただし、参議院議員は３年ごとに半数が入れ替わるよう憲法で定められていますので、３年に１回、定数の半分を選ぶことになります。私たちにとっては長期的視野から審議する大事な役目を任せる人たちです。 |
| 候補者名を記入政党名を記入 | 候補者名または政党名を記入候補者名を記入 |

|  |
| --- |
| 国がつくったルールや基準にのっとって行われる地方行政。防犯・防災を担う警察や消防、公立小中学校の運営、保育所の設置、病院等の医療機関整備、商店街の振興、ゴミの処理など、私たちの日常生活に関わりが深い課題のほとんどが地方行政によるものです。 |
| □**知事・市区町村長選挙**都道府県や市区町村の首長（都道府県知事・市区町村長）を直接選ぶ選挙です。知事・市区町村長は、予算や条例の案をつくって議会に提出し、成立・制定された予算や条例の執行、地方税の徴収などを行います。 | □**地方議会議員選挙**都道府県議会や市区町村議会の議員を選ぶ選挙です。地域の条例や予算を決め、よりよい町づくり・環境づくりを進める代表を選びます。定数はそれぞれの条例で決められていて、任期はいずれも４年です。 |

候補者や政党の情報収集

投票先を選ぶ情報は、いろいろな方法で集めることができます。

**□インターネット**

政党や候補者がホームページ・ブログ・ＳＮＳなどを通じて、自らの政策や思いを伝えています。

質問に「ＹＥＳ／ＮＯ」で回答していくと、自分の考えに近い政党や候補者が分かる「ボートマッチ」というサービスもあります。

**□政見放送**

政党や候補者自らが、テレビやラジオに出演し、政治に対する考え方や主張を述べます。

衆議院選挙、参議院選挙、知事選挙でのみ行われます。

**□街頭演説**

駅前や公園などの公共の場で政党や候補者が主義主張を述べます。

**□新聞・テレビ**

各候補者の政策や選挙の争点を解説したり、選挙の特集が組まれたりします。

**□公開討論会**

選挙期間の前に立候補者予定が集まり、それぞれの政策について発表または討論します。

**□選挙公報**

候補者のプロフィールや政策・主張を示した文書です。

各世帯に配布されるほか、インターネットでも同じものが公開されます。

**□選挙公約（マニフェスト）**

当選後に、世の中に対してどういう約束を果たすかが書かれた冊子です。

衆議院選挙、参議院選挙でのみ作成され、街頭演説の場所や選挙事務所などで配布されます。

投票日当日は

当日投票（一般的な投票）

・投票日当日、投票所で投票するのが原則です。

・投票日の投票は、原則午前７時から午後８時までです。

投票所へ行く前に

・「投票所入場整理券」（封書）を世帯ごとに郵送しますのでよくお確かめください。

・投票所や投票日、時間は？

・ご自分の「投票所入場整理券」ですか？間違っていませんか？

投票用紙の書き方

**□投票用紙には何を書けばいいの？**

|  |
| --- |
| ・原則的には候補者の氏名のみを記載しましょう。（その際は間違わないように正確に記載しましょう。）・参議院（比例代表選出）議員選挙の場合候補者の氏名または政党名を記載しましょう。・衆議院（比例代表選出）議員選挙の場合政党名を記載しましょう。・最高裁判所裁判官国民審査の場合やめさせたいと思う裁判官の氏名の上の欄に×を書いてください。 |

**□候補者名を書く場合、正確な姓と名を書かないと無効なの？**

|  |
| --- |
| 姓だけあるいは名前だけ書いても、候補者を特定できる票なら有効です。同じ姓、同じ名前の候補者が複数いる場合は、姓や名だけではどの候補者への投票かわかりません。その場合は、各候補者の有効得票数に応じて票を按分します。 |

**□姓名を書き誤ったらどうするの？**

|  |
| --- |
| 書き誤った文字を二重線で消して、その横に正しい文字を記載してください。消しゴムは使いません。 |

**□無効として取り扱われるのはどのように書いた投票用紙？**

|  |
| --- |
| 例えば、次のように書かれた投票用紙は、無効として取り扱われます。・候補者でない人の氏名を書いたもの・２人以上の候補者の氏名を書いたもの・候補者の氏名のほかのことを書いたもの　（例）「祈当選○○」「×○○」「○○閣下」など・候補者のだれを書いたのか確認しづらいもの・白紙　など |

※ボールペンや万年筆だと、投票用紙がインクで汚れてしまったり、投票用紙が破れるおそれがありますので、鉛筆を使いましょう。

投票用紙を故意に破ったときも無効として取り扱われます。

**せっかくの投票が無効にならないためにも、気をつけましょう。**

投票所のルールとマナー

**□投票所内で話をするのはダメなの？**

|  |
| --- |
| 他の人の投票に干渉したり、特定の候補者への投票を呼びかけたりする行為は「投票干渉罪」にあたる可能性があります。また、声を出して平穏な投票手続きの進行を妨害することも公職選挙法で禁止されています。投票所内では話をしたり、声を出して候補者の名前を言ったりしないように気を付けましょう。 |

**□投票用紙を他人に見せてもいいの？**

|  |
| --- |
| 日本国憲法では「投票の秘密」が保障されています。また、公職選挙法では記載した投票の内容を本人以外の人が知ることもできないし、知ろうとすることもできないように投票の秘密を保持するように規定されています。したがって、他人の投票内容を見たり「見せて！」ということもできませんし、候補者やどの政党に投票しても選挙人本人だけしか知りえません。選挙人は自分の自由な意思で候補者または政党を選び投票しましょう。 |

**□投票用紙は持ち帰ってもいいの？**

|  |
| --- |
| 公職選挙法では、投票用紙を「投票箱に入れなければならない」と規定されています。投票用紙を投票所から持ち出したり、持ち帰ることはできません。投票しない場合は、投票用紙を投票管理者に返さなければなりません。 |

**□投票所内で撮影するのはダメなの？**

|  |
| --- |
| 投票所内での携帯電話やスマートフォンによる撮影行為は、投票所の秩序保持を定めた公職選挙法に抵触するおそれがあります。また、他の有権者の秘密保持のためにも、携帯電話やスマートフォンの使用についてはご遠慮いただいています。ご理解とご協力をお願いします。 |

**□投票所内でのルールやマナーに違反したらどうなるの？**

|  |
| --- |
| 投票所内で秩序を乱す人には注意をします。それでもやめない場合には、やむをえず投票所の外に退出を命じます。退出を命じられた人は投票用紙を返さなければなりません。また、投票管理者は、必要があるときは警察官に応援を求めます。 |

選挙運動について

**□選挙運動とは**

|  |
| --- |
| 選挙運動とは、「特定の選挙について、特定の候補者の当選を目的として、投票を得又は得させるために直接又は間接に必要かつ有利な行為」とされています。 |

**□選挙運動の例**

|  |
| --- |
| ・選挙運動用自動車の使用・街頭演説、個人演説会・ポスターの掲示・選挙公報・インターネットを利用した選挙運動（詳しくは９ページに掲載）　など |



**□選挙運動の期間（１８歳の場合）**

|  |
| --- |
| 選挙運動は、選挙の公示・告示日から選挙期日の前日までの期間しかすることができません。**※選挙期日を７月１０日（日）に仮定した場合の選挙運動可能期間（１８歳の場合）** |

**□満１８歳未満の人が選挙運動をすることは法律で禁止されています。**

|  |
| --- |
| 〈選挙運動となる行為の例〉・友人や友人の家族に、特定の候補者への投票を依頼すること。・選挙運動用自動車に乗車すること。・演説会場の入り口などで、来場者などに対して「ありがとうございます」「よろしくお願いします」の声掛けや一礼をすること。・選挙運動メッセージをSNS等で広めること（リポスト、シェアなど）。 |

禁止されている選挙運動について

選挙の公正を確保するため、選挙運動のうち次のような行為は、候補者だけでなく一般の人もすることはできません。

**１．戸別訪問**

投票依頼を目的に、家庭や職場を訪問することは禁止されています。

**２．署名運動**

選挙に関して、特定の人に投票するように、またはしないようにすることを目的として署名運動をすることは禁止されています。

**３．人気投票の公表**

選挙に関し、当選人を予想する人気投票の経過または結果を公表することはできません。

**４．飲食物の提供**

選挙運動に関して飲食物（湯茶といわゆるお茶うけ程度の菓子を除く）を提供することは原則禁止されています。

**５．気勢を張る行為**

自動車を連ねまたは隊列を組んで往来するなどの気勢を張る行為をすることはできません。

**６．連呼行為**

連呼行為は原則できません。ただし、次の制限のもとにおいては連呼行為が認められています。

・個人演説会における演説の前後またはその合間

・街頭演説（演説を含む）の場所における演説の前後またはその合間

・午前８時から午後８時までの間に限り、選挙カーまたは船の上においてする場合

**７．選挙期日後のあいさつ行為**

当選または落選に関するあいさつをする目的で、戸別訪問をしたり手紙等（自筆の信書を除く）を差し出したり、当選祝賀等の集会を開催したりすることはできません。

**８．買収・供応**

候補者の選挙運動の目的で、有権者等に金銭や物品をあたえることや、供応接待することはできません。これは選挙犯罪のうちではもっとも悪質なものであり、法律で厳しい罰則が定められています。候補者はもちろん選挙運動の責任者等が処罰された場合は当選が無効になることもあります。

**９．選挙妨害**

候補者についてデマをとばしたり、候補者、選挙人、選挙運動員をおどしたり、演説、集会、交通等を妨害したり、選挙用のポスターを破ったりして、選挙の自由を妨げると処罰されます。



インターネットを使った選挙運動について

インターネット等を利用した選挙運動ができるのは、選挙運動期間中（選挙の公示日または告示日から投票日の前日まで）だけで、それより前にするのは「事前運動」として禁止されています。なお、インターネット選挙運動のポイントは次のとおりです。

１．ウェブサイト等を利用した選挙運動

候補者、政党等、有権者が、ウェブサイト等による選挙運動をすることができるようになりました。ホームページ、フェイスブック、LINE、X(旧ツイッター)等による選挙運動がこれに分類されます。

（例）

・選挙運動の様子を動画サイト等に投稿する。

・選挙運動メッセージを掲示板・ブログなどに書き込む。

・選挙運動メッセージをSNSなどで広める（リポスト、シェアなど）

※投票日当日に「○○候補に投票しました」などの投稿をすることはできません。

※満１８歳未満の方は選挙運動をすることができません。

２．電子メールの利用

候補者、政党等のみ、電子メールでの選挙運動ができます。

有権者は届いたメールを転送できませんので注意してください。

３．有料ネット広告

候補者や有権者は、有料インターネット広告を掲載できません。

政党等は、ウェブサイト等に直接リンクする有料広告を掲載できます。

４．ネット利用による選挙期日後のあいさつ行為

候補者、政党等がウェブサイトや電子メールにより選挙期日後でも当落の挨拶行為をすることができます。

（ご注意）

|  |
| --- |
| 報道等でインターネット選挙運動のことを「ネット選挙」と略すこともあったため、「インターネットを利用して投票をすることができる」と勘違いしている方がいるようです。インターネットを利用して投票ができることではありませんのでご注意ください。 |

開票の流れ

各投票所での投票が終わると、開票所（坂出市立体育館）に全ての投票箱が集められ、開票開始の宣言により一斉にこれを開けて投票用紙を取り出します。

１．開票開始の宣言

２．投票の点検

それぞれの投票の効力（有効・無効）を決定し、各候補者（または政党等）別に得票を計算します。

３．得票数の確認、開票録の作成等

開票管理者は

①各候補者（または政党等）の得票数を確認します。

②開票録を作ります。

③開票結果を選挙長に報告します。

④投票用紙を梱包して、開票立会人とともに封印し、市選挙管理委員会で保管します。

学生の選挙権について

居住地（修学地）が住所として認められることから、坂出市に住民票があっても、居住していなければ投票できない場合があります。

投票するためには、実際に居住している市区町村に住民票を移すことが必要です。居住地の選挙人名簿に登録されるには、転入届を出した日から引き続き３か月以上住んでいることが必要ですが、国政選挙においては、進学や就職等で引っ越しをして３か月が経過しないうちに選挙が行われる場合、転出前の旧住所地に３か月以上住んでいたのであれば、旧住所地で投票することができます。（転出後４か月以内に限る）

この場合、選挙期間中に旧住所地に行って投票できない場合は、不在者投票制度を活用することができます。

※県（市）の選挙においては、県外（市外）に転出した方は当該選挙の投票はできません。